

納め忘れはありませんか？ 公平な納税にご協力を

12月は県内滞納整理強化月間

行政サービスを支えているのは地方税や国民健康保険税などの税金です。税金は教育、福祉、消防・救急やゴミ処理など、私たちの生活に身近でさまざまな住民サービスを賄うための貴重な自主財源です。県や市では行財政改革を進めて経費の節減に努める一方、税金を公平に負担していただくため、税金が納付納入されない場合などには厳正に滞納処分を行っています。

問取納課 ☎ 63-1353 ☎ 63-1362

滞納処分ってどんなこと？

地方税法・国税徴収法などに定められている事務執行です。税金を滞納している人の財産を差し押さえ、差し押さえた財産の取り立てや公売を行い、それを税金に充てる一連の手続きのことです。

●不動産、預貯金口座、生命保険、給与などの差し押え

勤務先や金融機関などに調査を行い、財産を把握し、取り立てや公売を行います。

●自動車の差し押え

自動車にタイヤロックを装着し、使用を制限して自動車を引き上げ、公売します。

●住居などの搜索

財産を見つけるために住居などを強制的に搜索します。

●公売

差し押さえた財産を、公売会やインターネットを通じて売却します。



▲タイヤロック

税金を納期限内に納められない場合は、必ず収納課にご連絡ください

納付期限内に納めることが難しい場合は、必ず収納課にご連絡ください。現在の状況などを聞かせていただき、納税の方法などの相談をお受けします。

夜間と休日に納税窓口を開きます

納税相談も行いますので、ご利用ください。

【平日の夜間納税窓口】

●開設日 12月7日(水)～20日(火)

●時間 午後5時15分～8時

【休日の納税窓口】

●開設日

12月10日(土)・11日(日)・17日(土)・18日(日)

●時間 午前8時30分～午後5時15分

●場所 収納課

●対象

市県民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税

おすすめ！ 便利な口座振替・自動払込

荒尾市公金等口座振替依頼書・自動払込利用申込書は、市内の取扱金融機関にあります。市外の人には申込書の送付もできます。混雑する窓口でその都度支払う必要がなく、一度手続きをすれば毎年継続されます。

申し込みには、市税などの納税義務者の認印、取扱金融機関の引き落とし口座の通帳印が必要です。固定資産税の支払いを申し込む場合は、納税通知書番号を記入してください。

市民サービスセンター(あらおシティモール 2階)で納められます

平日と土・日・祝日、午前10時30分～午後7時、納付期限内の納税通知書(使用期限内の督促状を含む)で納めることができます。

※納付期限日の過ぎたものは受け付けることができません。納期限が過ぎてしまった場合は、収納課にお問い合わせください。



納めるときはこんな方法も利用できます

防災と男女共同参画

問総務課男女共同参画推進室

☎ 63-1139

4月に発生した熊本地震は、幸いにも荒尾市には大きな被害をもたらさなかったが、皆さんの地震に対する考え方、心構えなどに、少なからず影響を与えたのではないだろうか。

いざ災害が起きたときに自分の身を守るため、大切な人を守るために、普段からできることを、男女共同参画の視点で紹介します。

【男女共同参画って??】

人と人がお互いに対等なパートナーとして認め合い、支え合いながら、だれもが自分らしさや自分の能力を十分に生かした生き方ができるよう、みんなが責任をもって協力し合うことです。

一覧をチェック！



災害発生！その時あなたは？

- 家族の安否確認の方法(連絡方法、集合場所など)を決めている
- 学校や保育園、幼稚園へ誰が子どもを迎えに行くかを決めている
- 自分が住む地域の避難場所を知っている
- 水や食べ物などを普段から備蓄している
- 災害時に持ち出すものを準備している
- 公衆電話がある場所を知っている
- 近所に協力し合える人がいる

POINT

災害へのモノの備えはもちろん、日頃から家族で、地域で、みんなが共に声をかけ合い、協力し合えるつながりを作っておくことが、災害時の防災力アップにつながります。

避難所と男女共同参画

～避難所で起こりやすい課題～

- ◎世帯状況や個人の抱える事情に関わらず、男性は力仕事、女性は炊き出しに負担が集中する
- ◎子どもが騒ぐ、夜泣きすることによるストレス(子どもの親、避難者双方)
- ◎避難所運営リーダーはほとんどが男性で、女性の声が届かない
- ◎女性用の更衣室や洗濯物干し場、授乳室がない
- ◎生理用品、粉ミルク、オムツがない
- ◎普段から地域との交流がない避難者の孤立

POINT

「防災＝男性が担うもの」という思い込みを無くし、老若男女全ての人々が避難所運営に主体的に関わり、いろいろな立場の人がお互いに気持ちよく過ごすことができる居心地のいい避難所づくりをみんなで考えることが必要です。地域で行われる防災訓練などに積極的に参加していませんか。

大切なのは人と人がつながり合うこと

災害時は、普段の生活の中で抱えている問題がさらに浮き彫りとなって現れます。

だからこそ、普段の暮らしの中に男女共同参画の視点を取り入れることがとても重要になってきます。普段できていないことは非常時にはさらにできません。

いざ災害が起きたとき、自分自身を、そして大切な人を守る自分であるために、まずは普段の生活の中から「男だから」「女だから」と性別で役割を決め付ける考え方を無くし、人とのつながり、地域とのつながりを大切にしながら、お互いに思い合い支え合える関係づくりをはじめませんか。